

矯正治療は歯をキレイに並べるだけではありません。

美味しく食べられる

矯正をすると、歯のかみ合わせが良くなるので、「食べ物を噛む力（咀嚼能力）」が増し、美味しく食事をすることができます。また、しっかり咀嚼すると、消化吸収が良くなり胃腸の負担も減ります。



心理的効果

歯並びが悪いことで見た目にコンプレックスを持ち、心理的に悪い影響を与えることがあります。矯正で歯並びが整うと、自分に自信が持てるなど、心理的に良い影響があります。

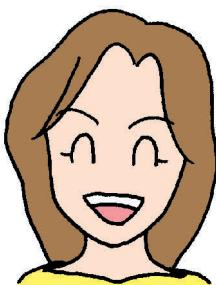


歯並び（かみ合わせ）の悪さは、身体全体のバランスの歪みにつながり、「肩こり」「頭痛」「めまい」などの全身症状が現れることがあります。気になる方はご相談ください。

矯正治療の目的は、歯を理想的な位置に治していくことです。歯並びを整えることで見た目の美しさ以外にも、様々なメリットがあります。

見た目が美しくなる

キレイな歯並びになり、見た目が美しくなります。矯正によって、かみ合わせも良くなり、顎の筋肉のバランスも良くなり、調和のとれた顔立ちになります。



むし歯や歯周病になりにくくなる

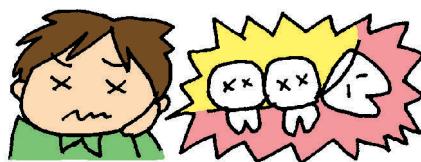
歯並びが整うと、むし歯菌や歯周病菌などのプラークが溜まりにくくなります。また、歯みがきもしやすくなるので、むし歯や歯周病になりにくくなります。



親知らずは、抜く？抜かない？

ケース1 親知らず周囲の歯ぐきが腫れて痛い

親知らずのトラブルで最も多いのがこれです。親知らずは歯ブラシが届きにくいため、不潔になりやすいのが原因です。時々腫れるくらいでは問題ないケースも多いですが、頻繁にひどく腫れたり、親知らずが倒れて生えていたりするケースでは早めに抜歯をしたほうが良いでしょう。



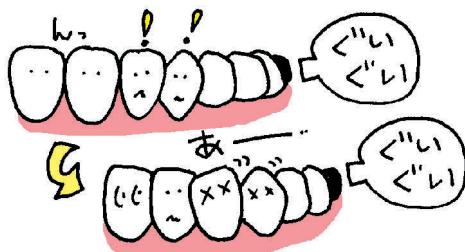
ケース2 親知らずがむし歯で痛い

むし歯が小さく、治療が簡単に行えるケースであれば、むし歯の治療をして親知らずを保存しても問題ないでしょう。しかし、むし歯が大きくなってしまって穴が開いていたり、すでに痛みがでているケースではむし歯の治療自体が困難であったり、予後も不良なことが多いため、抜歯をすることが勧められます。



ケース3 歯並びがずれてきた

親知らずが生えてくる段階で前の歯を押す力が働き、歯並び全体がずれてしまうことがあります。このような場合には歯並びが悪くなる前に抜くことをお勧めします。



親知らずを抜いたほうが良いかは個々のケースによって異なります。たとえ親知らずの生える条件が良くても、口の中をきれいに清掃できていない場合には、トラブルの元になることが多いため、抜いたほうが良いと判断されることもあります。